

平成20年12月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年 5月13日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>
 代表者 役職名 代表取締役会長兼社長兼 氏名 原田 泳幸
 最高経営責任者(CEO)
 問合せ責任者 役職名 CR担当上席執行役員 氏名 下平 篤雄 TEL:(03)6911-6061

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第1四半期の連結業績 (平成20年1月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 12月期 第1四半期	99,862	3.5	3,380	△ 32.5	3,299	△ 33.5	1,818	△ 36.8
19年 12月期 第1四半期	96,462	12.1	5,011	107.8	4,960	136.6	2,875	—
19年 12月期	395,061	11.1	16,733	126.7	15,616	173.6	7,819	404.7

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年 12月期 第1四半期	13	68	—	—
19年 12月期 第1四半期	21	63	—	—
19年 12月期	58	81	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年 12月期 第1四半期	198,109	130,408	130,408	128,511	65.8	980	14	
19年 12月期 第1四半期	194,467	128,511	128,511	128,511	66.1	966	54	
19年 12月期	201,303	133,247	133,247	133,247	66.1	1,001	50	

(参考) 自己資本 20年12月期第1四半期 130,318 百万円 19年12月期第1四半期 128,511 百万円
 19年12月期 133,159 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況 (平成20年1月1日～平成20年3月31日)

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金 同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年 12月期 第1四半期	△ 2,532	△ 5,965	△ 5,965	△ 5,965	6,359	6,359	9,857	9,857
19年 12月期 第1四半期	5,215	△ 3,972	△ 3,972	△ 3,972	1,357	1,357	13,939	13,939
19年 12月期	24,337	△ 21,855	△ 21,855	△ 21,855	△ 1,812	△ 1,812	12,005	12,005

2. 配当の状況

当社は、第1四半期末及び第3四半期末を基準日とした配当を行っておりません。

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
平成19年12月期	—	—	—	30	00	30	00
平成20年12月期	—	—	—	30	00	30	00
平成20年12月期(予想)	—	—	—	30	00	30	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
中間期	201,000	4.3	8,000	13.2	7,300	7.6	5,500	74.0
通期	412,000	4.3	19,500	16.5	17,500	12.1	11,500	47.1

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
中間期	41	37
通期	86	49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しています。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考)

(1) 平成20年12月期の個別業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
中間期	27,500	3.9	500	29.9	500	3.2	1,500	355.1
通期	55,000	0.8	1,000	27.2	1,000	△ 2.2	1,800	242.1

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
中間期	11	28
通期	13	54

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 20年12月期第1四半期 132,960,000株 19年12月期 132,960,000株
- ② 期末自己株式数 20年12月期第1四半期 198株 19年12月期 198株
- ③ 期中平均株式数 20年12月期第1四半期 132,959,802株
19年12月期第1四半期 132,959,802株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

本日(平成20年5月13日)、中間期及び通期の連結及び個別業績予想を修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページの【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの基幹ビジネスであるハンバーガーレストラン事業では、平成16年以降、QSCの向上というレストランビジネスの基本に取り組んできました。また、グローバル化の一環として全世界の成功事例を日本に展開してきたことや、積極的な投資の継続、顧客拡大戦略の徹底、人材の意識向上による企業改革を徹底して推進してきたことが売上高の好調な推移につながっています。

当第1四半期(1月～3月)においては、下記の8つの施策を行ってまいりました。

- ① QSCの更なる向上
- ② 「プレミアムローストコーヒー」の投入
- ③ 期間限定商品「きのこクリームえびフィレオ」「てりたま」「たまごダブルマック」等の投入
- ④ 「シャカシャカチキン」投入による¥100マックの強化
- ⑤ 24時間営業の拡大
- ⑥ 快適な食事空間を提供するための店舗改装
- ⑦ 人材開発への投資
- ⑧ e-マーケティングの拡大

加えて、様々なCSR活動がマクドナルドのブランド力を高め、顧客層を拡大しております。当第1四半期においても既存店売上高は各月ともプラスで推移しており、26ヶ月連続増加を継続しております。

店舗展開につきましては、新規出店数はトラディショナル店舗(標準店舗)18店舗、閉店数は不採算店舗の戦略的閉鎖15店舗も含め合計29店舗となり、その内訳はトラディショナル店舗6店舗及びサテライト店舗(メニュー限定小型店舗)23店舗であります。その結果、当第1四半期末の店舗数は3,735店舗(前期末比11店舗純減)となりました。

上記のような活動の相乗効果により、当第1四半期の業績は、既存店売上高の前年比4.4%増加、既存店客数の前年比6.2%増加と順調に推移しております。また、システムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)は、1,259億71百万円(前年同四半期比5.2%増)となりました。

一方、経費面につきましては、原材料費の高騰やアルバイトの時給の上昇といった利益の圧迫する要因がございましたが、販売価格の見直しや生産性の向上により売上総利益の売上比率は対前年比0.5ポイント改善いたしました。

販売費及び一般管理費においては、厳しいマーケット環境において、客数シェア増大のために積極的なマーケティング投資を行い、また、より一層の効率化を目指し、インフラシステムを整えるためにIT投資を計画通り行ったことにより、対前年比26億52百万円の増加となっております。

これらの結果、当社グループの連結の業績は、**売上高**998億62百万円(前年同四半期比3.5%増)、**営業利益**33億80百万円(前年同四半期比32.5%減)、**経常利益**32億99百万円(前年同四半期比33.5%減)、**四半期純利益**18億18百万円(前年同四半期比36.8%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ31億93百万円減少の1,981億9百万円となりました。これは、更なる効率化のためのシステムインフラの再構築を行っており、ソフトウェアを取得したことにより無形固定資産のその他が15億18百万円増加した一方で、法人税等及び剰余金の配当の支払い等により現金及び預金が21億48百万円減少したこと、投資有価証券の時価の下落により投資有価証券が7億30百万円減少したこと、加えて敷金・保証金の回収により敷金・保証金が6億95百万円減少したことなどが要因であります。

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は前連結会計年度末比21億48百万円減少し、98億57百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、25億32百万円となり、前年同四半期比77億48百万円の支出増加となりました。この支出増加の主な要因として、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期比19億11百万円減少したこと、買掛金の増減額が前年同四半期15億4百万円減少したこと及び法人税等の支払額が前年同期比49億12百万円増加したことがあげられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、59億65百万円となり、前年同四半期比19億93百万円の支出増加となりました。これは、情報システムの開発による支出が前年同四半期比18億16百万円の増加となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、63億59百万円となり、前年同四半期比50億2百万円の収入増加になりました。これは、短期借入金の純増減額が前年同四半期比50億円の増加になったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本日(平成20年5月13日)、中間期及び通期の業績予想を平成20年2月7日公表値から修正する発表をいたしました。

修正理由は以下の2点であります。

- (1) 弊社連結子会社の日本マクドナルド株式会社から日本トイザラス株式会社に対して平成19年2月28日付にて提訴しておりました訴訟について、平成20年5月13日付で裁判上の和解が成立し、本件訴訟が解決いたしました。本件の解決に伴い、約14億円の特別利益を計上することによるものであります。なお、詳細につきましては、別途「連結子会社の和解による訴訟の解決に関するお知らせ」をご確認ください。
- (2) 弊社が保有している日本トイザラス株式会社株式につき、平成20年5月13日に発表されたティーアールユー・ジャパン・ホールディングス2・エルエルシー(日本トイザラス株式会社の間接的な親会社であるトイザラス・インクが、この公開買付のために米国デラウェア州法に基づいて新たに組成したリミテッド・ライアビリティ・カンパニー)が実施する公開買付に応募することに伴い、投資有価証券売却益として、約25億円の特別利益を計上することによるものであります。なお、詳細につきましては、別途「公開買付の応募に関するお知らせ」をご確認ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無
四半期連結財務諸表の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な手続きを採用しております。
・法人税等の計上基準
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無
該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第1四半期 (平成19年3月31日)		当第1四半期 (平成20年3月31日)		前連結会計年度 (平成19年12月31日)		増減 (△印減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金	13,939		9,857		12,005		△ 2,148	
2. 売掛金	8,533		8,222		9,050		△ 827	
3. たな卸資産	2,656		3,044		2,871		172	
4. 繰延税金資産	1,864		2,727		2,555		172	
5. その他	5,683		5,424		5,729		△ 305	
貸倒引当金	△ 75		△ 60		△ 69		8	
流動資産合計	32,602	16.8	29,216	14.7	32,143	16.0	△ 2,926	△ 9.1
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	41,759		44,111		44,634		△ 522	
(2) 機械及び装置	10,229		10,459		10,673		△ 213	
(3) 工具器具及び備品	6,980		9,172		8,120		1,052	
(4) 土地	17,277		17,277		17,277		—	
(5) 建設仮勘定	100		187		910		△ 723	
有形固定資産合計	76,347	39.2	81,208	41.0	81,615	40.5	△ 407	△ 0.5
2. 無形固定資産								
(1) のれん	1,189		1,370		1,387		△ 16	
(2) その他	4,779		9,916		8,398		1,518	
無形固定資産合計	5,969	3.1	11,286	5.7	9,785	4.9	1,501	15.3
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	4,267		3,054		3,784		△ 730	
(2) 長期貸付金	31		16		19		△ 3	
(3) 繰延税金資産	2,825		2,904		2,613		290	
(4) 敷金・保証金	66,435		63,368		64,064		△ 695	
(5) その他	6,973		7,878		8,111		△ 233	
貸倒引当金	△ 985		△ 824		△ 835		11	
投資その他の資産合計	79,548	40.9	76,398	38.6	77,758	38.6	△ 1,360	△ 1.7
固定資産合計	161,864	83.2	168,893	85.3	169,159	84.0	△ 266	△ 0.2
資産合計	194,467	100.0	198,109	100.0	201,303	100.0	△ 3,193	△ 1.6

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期 (平成19年3月31日)		当第1四半期 (平成20年3月31日)		前連結会計年度 (平成19年12月31日)		増 減 (△印減)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
(負 債 の 部)		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	20,950		12,414		12,596		△ 181	
2. 短期借入金	8,000		15,000		5,000		10,000	
3. 未払金	8,912		17,210		19,605		△ 2,394	
4. 未払費用	9,151		9,338		9,830		△ 491	
5. 未払法人税等	2,230		1,500		5,996		△ 4,496	
6. 賞与引当金	2,990		3,014		2,021		993	
7. その他	10,458		5,727		9,549		△ 3,822	
流動負債合計	62,693	32.2	64,207	32.4	64,599	32.1	△ 392	△ 0.6
II 固定負債								
1. 長期借入金	500		500		500		—	
2. 退職給付引当金	1,777		2,065		2,007		58	
3. 役員退職慰労引当金	83		104		99		4	
4. 再評価に係る 繰延税金負債	508		508		508		—	
5. その他	392		316		340		△ 23	
固定負債合計	3,262	1.7	3,494	1.8	3,455	1.7	39	1.1
負債合計	65,956	33.9	67,701	34.2	68,055	33.8	△ 353	△ 0.5
(純 資 産 の 部)								
I 株主資本								
1. 資本金	24,113	12.4	24,113	12.2	24,113	12.0	—	
2. 資本剰余金	42,124	21.6	42,124	21.3	42,124	20.9	—	
3. 利益剰余金	65,280	33.6	68,054	34.3	70,224	34.9	△ 2,170	
4. 自己株式	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	—	
株主資本合計	131,517	67.6	134,291	67.8	136,462	67.8	△ 2,170	△ 1.6
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	2,223	1.2	1,504	0.8	1,937	1.0	△ 433	
2. 繰延ヘッジ損益	10	0.0	△ 236	△ 0.1	1	0.0	△ 237	
3. 土地再評価差額金	△ 5,240	△ 2.7	△ 5,240	△ 2.7	△ 5,240	△ 2.6	—	
評価・換算差額等合計	△ 3,006	△ 1.5	△ 3,973	△ 2.0	△ 3,302	△ 1.6	△ 670	20.3
III 少数株主持分	—	—	89	0.0	88	0.0	0	1.0
純資産合計	128,511	66.1	130,408	65.8	133,247	66.2	△ 2,839	△ 2.1
負債純資産合計	194,467	100.0	198,109	100.0	201,303	100.0	△ 3,193	△ 1.6

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第1四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年3月31日)		当第1四半期 (自平成20年1月1日 至平成20年3月31日)		増減 (△印減)		前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I	売上高	96,462	100.0	99,862	100.0	3,399	3.5	395,061	100.0
II	売上原価	81,084	84.1	83,463	83.6	2,378	2.9	331,020	83.8
	売上総利益	15,377	15.9	16,398	16.4	1,021	6.6	64,040	16.2
III	販売費及び一般管理費	10,366	10.7	13,018	13.0	2,652	25.6	47,307	12.0
	営業利益	5,011	5.2	3,380	3.4	△ 1,631	△ 32.5	16,733	4.2
IV	営業外収益	284	0.2	251	0.2	△ 33	△ 11.9	1,492	0.4
V	営業外費用	335	0.3	331	0.3	△ 4	△ 1.4	2,609	0.6
	経常利益	4,960	5.1	3,299	3.3	△ 1,660	△ 33.5	15,616	4.0
VI	特別利益	191	0.2	12	0.0	△ 178	△ 93.3	380	0.1
VII	特別損失	24	0.0	97	0.1	72	295.6	2,112	0.6
	税金等調整前四半期 (当期)純利益	5,127	5.3	3,215	3.2	△ 1,911	△ 37.3	13,883	3.5
	法人税等	2,251	2.3	1,395	1.4	△ 856	△ 38.0	6,065	1.5
	少数株主利益 (△は少数株主損失)	—	—	0	0.0	0	—	△ 1	△ 0.0
	四半期(当期)純利益	2,875	3.0	1,818	1.8	△ 1,056	△ 36.8	7,819	2.0

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
		(自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)	(自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)	(自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I	営業活動によるキャッシュ・フロー			
	税金等調整前四半期(当期)純利益	5,127	3,215	13,883
	減価償却費	2,356	2,680	10,012
	減損損失	—	—	46
	引当金の増減額(減少:△)	1,380	1,036	467
	未回収商品券収入	△ 59	△ 36	△ 238
	受取利息及び配当金	△ 22	△ 25	△ 138
	支払利息	5	14	22
	持分法による投資損益(利益:△)	0	—	△ 11
	固定資産除却損	184	310	1,867
	売掛金の増減額(増加:△)	△ 92	827	△ 601
	たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 96	△ 172	△ 312
	フランチャイズ店舗の買取に係る のれんの増減額(増加:△)	81	16	△ 116
	その他の資産の増減額(増加:△)	513	551	△ 512
	買掛金の増減額(減少:△)	1,322	△ 181	1,498
	支払手形の増減額(減少:△)	130	—	△ 8,399
	未払費用の増減額(減少:△)	△ 816	△ 495	△ 142
	その他の負債の増減額(減少:△)	△ 3,930	△ 4,507	8,170
	その他	△ 4	17	△ 4
	小計	6,078	3,250	25,491
	利息及び配当金の受取額	0	0	43
	利息の支払額	△ 2	△ 10	△ 14
	法人税等の支払額	△ 860	△ 5,773	△ 1,183
	営業活動によるキャッシュ・フロー	5,215	△ 2,532	24,337
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
	店舗設備等の取得による支出	△ 5,001	△ 4,322	△ 22,831
	店舗設備等の売却による収入	595	67	1,803
	投資有価証券の満期償還による収入	—	—	250
	出資金の回収による収入	—	—	209
	敷金・保証金の差入れによる支出	△ 245	△ 367	△ 1,685
	敷金・保証金の回収による収入	1,268	1,058	4,824
	貸付金の回収による収入	5	3	17
	情報システムの開発による支出	△ 594	△ 2,410	△ 4,157
	その他	0	5	△ 286
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,972	△ 5,965	△ 21,855
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
	短期借入れによる純増減額	5,000	10,000	2,000
	配当金の支払による支出	△ 3,642	△ 3,640	△ 3,902
	少数株主からの払込による収入	—	—	90
	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,357	6,359	△ 1,812
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 9	△ 2
V	現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)	2,600	△ 2,148	666
VI	現金及び現金同等物の期首残高	11,338	12,005	11,338
VII	現金及び現金同等物の期末残高	13,939	9,857	12,005